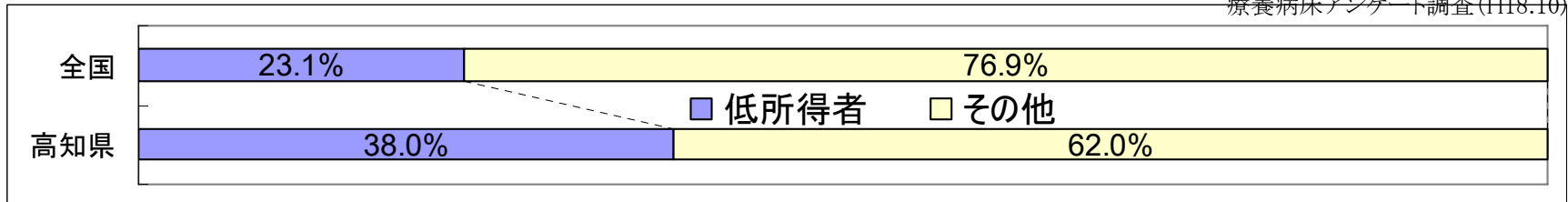


# 高齢者の状況

## (1) 所得の状況

医療療養病床の低所得Ⅰ、介護療養病床の利用者負担第1・第2段階（収入が年金のみの場合には年80万円以下）の人の割合が高く、全体の38.0%を占めている。

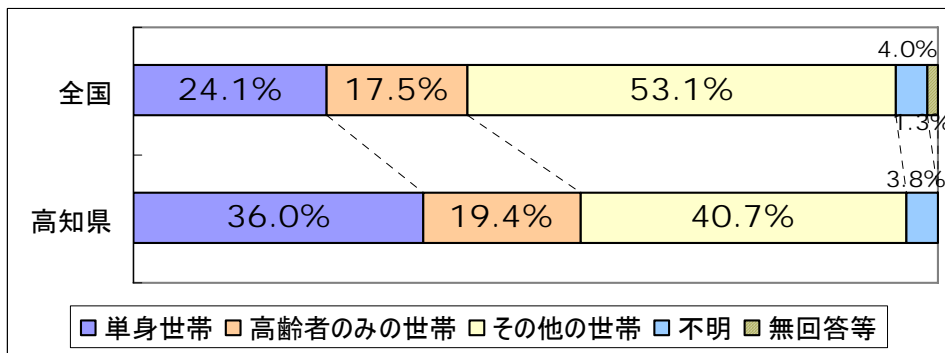
療養病床アンケート調査(H18.10)



## (2) 世帯の状況

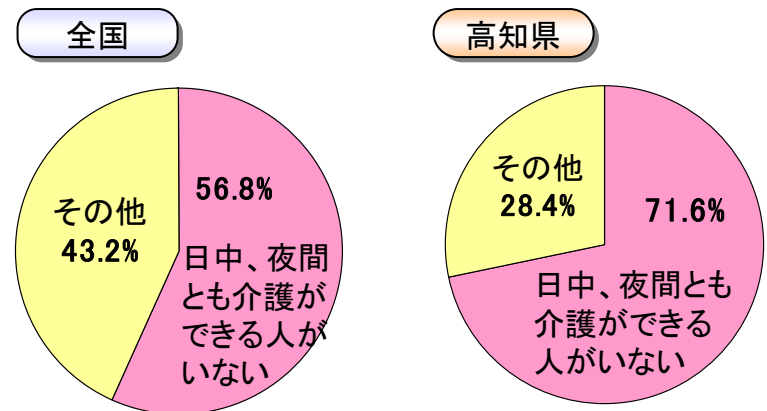
全国と比べて単身世帯の割合が高く、単身及び高齢者のみ世帯の人の合計が5割を超えている。

療養病床アンケート調査(H18.10)



## (3) 家庭介護力の状況

単身や高齢者のみの世帯が多いことから、「日中・夜間とも介護ができる人がいない」人の割合が高く、全体の7割を超えている。



療養病床アンケート調査(H18.10)

高知自動車道

## 大豊町の概要

面積 314.94km<sup>2</sup>  
(東京23区のおよそ半分)  
人口 5,315人  
高齢化率 51.8%



利用者宅の状況 (平成20年7月)  
(ヘルプ・デイ実利用者数78名)

【事業所からの距離】  
片道15km以上 11戸

【道路の幅員】  
2.0m以下 23戸

【中心集落までの傾斜度】  
20度以上 36戸

● 社協事務所  
★ 訪問介護利用者

3km

# 介護サービスの状況

## 大豊町社会福祉協議会の場合

通所介護 小規模4H～6H（平成20年7月分）			
	1日平均利用者	12.5人	
送 迎	1日平均使用車両	5.15台 (普通車1台・軽自動車5台)	
	車両1台当たり 1日平均走行距離	43km	
	1日平均送迎時間	2時間	
	最長走行距離	91km	

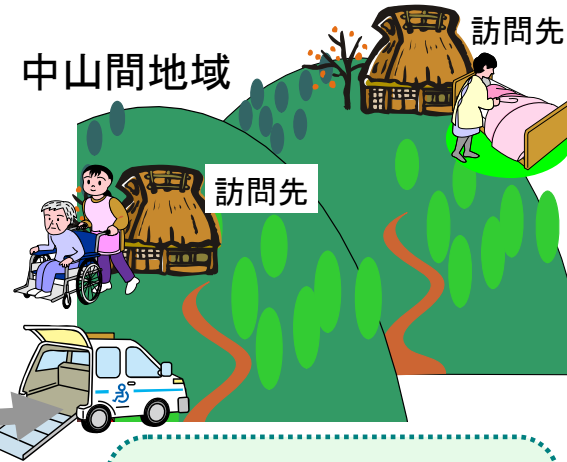
訪問介護 (平成20年8月分)		
常 勤 ヘル パー 一 人 当 た り	1日平均訪問件数	4.14件
	1日平均サービス 提供時間	4時間16分
	1日平均移動距離	51km
	1日平均移動時間	2時間10分
	1日最長走行距離	81km

# 中山間地域の介護保険サービスの維持について

## 現状

高知県の多くを占める中山間地域では、訪問に多くの時間を要し採算が合わないため、特に通所系、訪問系のサービスへの事業者参入が進んでおらず、市町村社会福祉協議会が赤字を出しながら介護サービスを提供している実態にある。

平成18年度に介護サービス事業を実施した県内28市町村社会福祉協議会中、14社協が赤字



- ・訪問先が広範囲に点在
- ・急峻で道幅が狭いなど道路事情が悪く、移動に多大な時間を要する

## 新たな支援制度の提案

中山間地域の市町村社会福祉協議会等が介護事業を継続できるよう、次のような支援措置を講じること。

- へき地診療所に対する赤字補填補助と同様の補助制度を創設すること。
- 介護報酬の特別地域加算を大幅に引き上げるとともに、利用者の負担が増加しないよう、当該加算にかかる費用は全額公費負担とすること。

訪問START



事業所